

世界史と現代社会

—伝承される歴史記憶—

日時：2019年6月22日

場所：早稲田大学14号館801号

午前のセッション

司会 赤尾健一

- 10:00 開会の挨拶 劉傑（早稲田大学社会科学総合学術院長・教授）
- 10:15 孟鐘捷（華東師範大学歴史学部長・教授、ドイツ史研究）
『ドレスデン大爆撃の論争』から第二次世界大戦の記憶の真実性問題を論ずる」
- 10:30 李孝遷（華東師範大学歴史学部教授、史学理論史学史研究）
「文面と文脈：範文瀾『中国通史簡編』の再検討」
- 10:45 李磊（華東師範大学歴史学部教授、中国魏晋南北朝史研究）
『三国遺事』から見えた新羅に対する唐朝の記憶と想像」
- 11:00 休憩
- 11:15 李月琴（華東師範大学教育学院副教授、歴史教育学研究）
「中学校歴史教育のなかの明治維新」
- 11:30 王悦（華東師範大学歴史学部講師、古代ローマ史研究）
「記念碑からリウウィウスの歴史書の可視化視角への再検討」
- 11:45 コメントと総合討論
コメンテーター 鄭成（早稲田大学社会科学総合学術院准教授）

午後のセッション

司会 赤尾健一

- 13:30 中野忠（早稲田大学名誉教授）
「産業革命、大分岐、その後」
- 14:00 ゲイルカーティス アンダーソン（早稲田大学社会科学総合学術院教授）
「終戦後日本における文化的マルクス主義」
- 14:30 劉傑（早稲田大学社会科学総合学術院教授）
「共同研究『知のプラットフォーム』と『和解学』の創成について」
- 14:45 コメントと総合討論
コメンテーター 孟鐘捷（華東師範大学歴史学部長・教授）
君塚弘恭（早稲田大学社会科学総合学術院准教授）
- 15:15 休憩
- 15:30 今後の共同研究について
「中国の改革開放と日本（1980年代を中心に）」
- 16:00 終了